

八幡平をもっと楽しむためのフリーマガジン

2014. vol. **2**
Take Free

ハチケラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

温泉レヅゴイ!

と、紅葉

- 08 食材を求めて産直へ
今日のひと皿
- 10 八幡平に生きる人
- 12 自然王国へようこそ
- 15 ディープスポットを訪ねる
- 16 ピッキーと行く八幡平

温泉

レズンゴウ!

と、紅葉

秋旅を盛り上げる
個性的な温泉と紅葉

八幡平市に来ると、大きく背伸びをして、息を深く吸い込みたくなる。高原を渡る清々しい風が心地よく、爽快感がたまらない。季節ごとに美しい表情を見せる自然だが、秋は特にいい。錦の絨毯を織りなす紅葉もだが、温泉という楽しみもあるからだ。

八幡平市は温泉の宝庫だ。温泉三昧の旅にぴったりのエリアである。八幡平温泉郷をはじめ、秘湯で知られる松川温泉と藤七温泉、ちょっと足を伸ばせば強塩泉の新安比温泉と、個性的な温泉が多い。ほかにも、地元客が毎日のように利用する温泉もある。はしご酒ならぬはしご温泉も可能なのだ。泉質もバラエティー豊かなから、湯巡りが楽しくなってくる。

また、露天風呂からみる風景

も絶景だ。特に標高1400メートルにある「藤七温泉彩雲荘」は、朝に入れば群青から白へと空を染め上げつつ昇る朝日を、夕暮れ時には橙色から紫色へと染まっていくさまが楽しめる。晴れた日の夜は、降り注いできそうと思うくらい星が近い。曇りの日も情緒があつていい。時間によって異なる表情をみせる八幡平市の温泉。これからの季節、日々紅葉が進んでいく。五感で自然の雄大さと美しさが感じられる。1日とはいわず、泊まりがけで楽しみたい。

盆を過ぎると、
空気に秋の気配が混じってくる。
そうになると、温泉が恋しくなる。
温泉王国といわれる八幡平市には、
個性的な温泉がたっぷりある。
秋の温泉巡りは、
心身をリフレッシュさせてくれるほか、
紅葉を愛でる楽しみも
もたらしてくれる。



雲の中の温泉の朝は早い
藤七温泉彩雲荘



海拔1400メートルにある「藤七温泉彩雲荘」。東北一高い場所であり、大地の息吹が感じられる秘湯として、温泉愛好家あこがれの温泉宿である。主人の阿部孝夫さんの朝は早い。日の出を露天風呂から見ようとすると宿泊客に対応するためだ。心地よく入ってもらうために、湯の温度を調節する。きめ細やかな管理が、名湯を支えている。



八幡平市松尾寄木北の又
TEL 090-1495-0950 (衛星電話)
日帰り入浴時間 / 8:00 ~ 18:00
日帰り入浴料 / 大人600円・子ども300円 (税込)
宿泊料金 / 1泊2食11,000円 ~ (税別)
泉質 / 単純硫黄泉

「ここは、のんびりできるからいいね」
地元客の憩いの場でもあるのだ。

この露天風呂は特徴的だ。「舞台湯」と呼ばれる2段構造になっている。そのおもしろさから遠来客も来る。しかし、多くは地元客で、10時の開館を待ちかねたようにやってくる。荷物を置いたら、まずひとつ風呂、持参した弁当を食べて休んだら、また風呂へ。



日帰り温泉で井戸端会議
八幡平温泉館森乃湯



八幡平市八幡平温泉郷
TEL 0195-78-3611
日帰り入浴時間 / 10:00 ~ 22:00 (入館は21:00まで)
日帰り入浴料 / 大人600円・子ども300円 (税込)
※広間利用料は1日200円・半日100円 (税込)
泉質 / 単純硫黄泉

紅葉と温泉の秋旅を楽しむドライブコース

八幡平市の秋の見どころは、紅葉にあるといっても過言ではない。
八幡平アスピーテラインから樹海ラインを回るコースは、特におすすめ。
色づき始めた頃から、落葉間近まで、それぞれに趣がある。



乳白色の湯に 灯りがゆらめく 松川温泉松楓荘



松川温泉で最も古い温泉宿の開湯は古く、寛保3年(1743)までさかのぼる。名物は、巨大な岩で男湯と女湯を隔てられた内風呂。青みを帯びた乳白色の湯と立ちこめる湯気に湯力が感じられる。この内風呂は夜になると幻想的な雰囲気に包まれ、最高の温泉気分を満喫できる。清流のせせらぎを聞きながら入る露天風呂、7月に新設された内風呂も格別である。

八幡平市松尾寄木松川温泉
TEL 0195-78-2245
日帰り入浴時間 / 8:00 ~ 20:00
日帰り入浴料 / 大人500円・子ども250円(税込)
宿泊料金 / 1泊2食8,790円~(税込)
泉質 / 単純硫黄泉



9・10月の産直情報

八幡平市の豊かな自然に培われた農作物や花々、手づくり総菜……。産直には、ふるさとの宝が集まっている。

旬の野菜が手頃な値段で入手できるのも産直の魅力。(物産館あすびーて)

安比高原直売センター



リンドウが各色そろそろ。カスミノウや小菊などの切花もおすすめ。晩生のトウモロコシやスイカも。

八幡平市星沢76-5 TEL0195-72-6821 営業時間/8:30~18:00 (10月から17:00) 定休日/11月中旬~4月下旬

道の駅にしね



長芋やゴボウ、サツマイモなどの秋野菜がメイン。そのほか、舞茸などの天然きのこが並ぶ。

八幡平市大更2-154-36 TEL0195-75-0070 営業時間/9:00~18:30 (11~3月は17:00まで) 定休日/12月31日・1月1日

畑学び舎農産物直売所



リンドウ、アスター、小菊などの切花が豊富。ナラタケや原木なめこもおすすめ。茹で栗が人気。

八幡平市赤坂田40-2 TEL0195-72-6226 営業時間/9:00~17:30 定休日/無休 ※11月第2日曜まで営業、冬期休業

松っちゃん市場



新米、ジャガイモ、早生のリンゴがおすすめ。シメジやギンダケ、キンタケなどの天然きのこも販売。

八幡平市松尾寄木2-512 TEL0195-78-3002 営業時間/9:00~18:00 (11月~4月は17:00まで) 定休日/12月31日~1月2日

産直りんどうの里



リンドウの切り花や鉢花をはじめ、小菊などの生花が人気。ドライフラワーのリースもおすすめ。

八幡平市清水92-1 TEL0195-72-2160 営業時間/8:30~17:00 定休日/火曜(盆・彼岸は営業)、11月中旬~4月中旬は土・日曜のみ営業

物産館あすびーて



大根などの根菜類はもちろん、原木シイタケや栽培マイタケ、早生のリンゴや山ブドウもそろそろ。

八幡平市松尾柏台1-28 TEL0195-78-3480 営業時間/9:00~17:00 (12~3月は要問合せ) 定休日/12月31日・1月1日 (11~4月は要問合せ)

戸沢生産物直売所



レタスが豊富な直売所。赤カブと白カブ、ジャガイモなどの秋野菜、リンドウの切り花も販売。

八幡平市戸沢129-1 TEL0195-72-3269 (藤村宅) 営業時間/8:00~18:00 定休日/8月14日

産直大地



秋といえば新米。漬物にも最適の白菜やカブなどのほか、天然きのこ、根菜類、早生リンゴが並ぶ。

八幡平市平館15-124 TEL0195-68-7310 営業時間/9:00~17:00 定休日/12月31日~1月3日



キノコの柳ぱっと



そば粉と熱湯を1:1の割合で練り、柳の葉の形に成形。季節の具材を入れたつゆを入れてでき上がり。

江戸時代、農民がそばを食べることを禁じていた時期があった。人々は、「これはそばではなく、「柳ぱっと」という料理」と言い、そば粉を練り柳の形にしたものをつくり続けたという。昔の人々の知恵は、いま郷土の味として伝わっている。秋にはキノコ、春には山菜などを入れて……。晩秋には、新そば粉も出てくる。温かくホッと一息つける汁碗は、秋の食卓を豊かにしてくれる。

江戸時代、農民がそばを食べることを禁じていた時期があった。人々は、「これはそばではなく、「柳ぱっと」という料理」と言い、そば粉を練り柳の形にしたものをつくり続けたという。昔の人々の知恵は、いま郷土の味として伝わっている。秋にはキノコ、春には山菜などを入れて……。晩秋には、新そば粉も出てくる。温かくホッと一息つける汁碗は、秋の食卓を豊かにしてくれる。

今回のレシピを紹介してくれた佐藤ひとみさん。



食材を求めて産直へ
今日のひと皿

八幡平には、いろんな人がいて、
いろんなことを考えている。
共通するのは、
「ここって、いいまちだよな」。
暮らしてこそわかる、
八幡平の魅力とは――。



時がゆつくりと流れる八幡平市は、
岩手山との距離感が絶妙



#3 クラリー牧場 クラレンス・ジョージ・リドゥリーさん 船橋慶延さん

「八幡平市は馬と一緒に暮らすという点では、冬の厳しさや雪の多さが大変ですが、良質な豊富な牧草があり、放牧可能な場所も十分にあることです。馬も快適そうで、それを見ている僕たちも気分がいいです」というのは、「クラリー牧場」のマネージャー・船橋慶延さん。クラリー牧場は、八幡平市平笠にある馬専門の牧場である。この共同経営者でトレーナーのクラレンス・ジョージ・リドゥリーさんは、オーストラリア出身。みんなからは「クラリーさん」と親しみを込めて呼ばれている。クラリーさんが調教師として日本に来日したのは20年前。八幡平市に牧場をオープンさせたのが、平成10年（1998）10月のことである。代表を妻のリドゥリー・高荷陽子さんが務めている。移住以来、クラリーさんが気に入っている風景がある。眼前に見える岩手山だ。

「オーストラリアは山が少ない。だからか、いかにも火山だというのが分かる岩手山の造形が気に入っています。特に雪解けの時期の、山頂のみに雪が残っている春が」という。船橋さんも、岩手山が見える風景が好きだという。特にルーデンス農場（八幡平市平笠）の牧地から馬と眺める岩手山は最高とか。でも、船橋さんの八幡平市の一番は、ちよつと違う。

「全身クタクタになるまで働いて、帰宅してからのビールと八幡平温泉郷から引湯したお風呂の気持ちいいこと！これがあるから、翌日も働けるんです」

profile

クラレンス・ジョージ・リドゥリー
オーストラリア出身。約20年前、馬の調教師として日本に来日。障害飛越競技の選手としても、全国的に知られている。1998年、八幡平市平笠に「クラリー牧場」を開設。通称クラリー。

ふなはし よしのぶ
大阪府出身。16歳から障害飛越競技を始める。2006年に自分の馬と一緒にいるために八幡平市に転居。その後、栃木や北海道へ転居するが、昨年、再び八幡平市へ。現在、マネージャーとして、クラリー牧場の経営にも携わっている。



ここで撮影しよう

Catch the HACHIMANTAI

八幡平市在住のプロ・アマカメラマンがイチオシする、八幡平市らしさたっぷりの撮影スポットを紹介！



location
紅葉

茶臼口から中腹まで登り、振り返って東の方向を見下ろすと、眼下に色鮮やかに紅葉した八幡平の景色が広がる。5時40分、太陽が顔を出すと冷え込んでいた空気が一気に温められ、オレンジ色に染められた朝靄に包まれてさらに幻想的に。昇ってくる太陽は想像以上に早いのであらかじめ三脚を立て、写真の構図を決めておこう。撮影時期 10月上旬・茶臼口中腹より

ブラードフォトとは……

若手中心のプロ、アマ問わないフォトグラファーのグループ。大自然、風土、風習など写真を通じて、八幡平の魅力を広く世界に発信していくことを主たる目的としている。ブラード (blurred) は英語で「はっきりしない、ぼやけた」という意味で、ピンボケ写真を撮らないようにという戒めの意味を込めている。



読者の声 << readers voice

ハチクラ第1号に寄せられた読者のコメントを紹介。

●夜9時過ぎ、八幡平リゾート近くで小さな宝石を発見。近くに住む方に聞くと林の中に生息する「ヒメボタル」と教えてくれました。岩手山の頂上で満天の星空を見た時と同じくらい感動を体験しました。(ぐりぐら)

●友人に連れられて初めて八幡平山頂へ登ったとき、こんなに簡単に歩ける場所なんだとびっくり！ さわやかな高原風景にも感動！ また来年も訪ねたいと思います。(ナツ)

●樹海ラインの車を止めるスペースがある場所が、冬はスキー場だと聞いて驚きました！ まさか、スキー場が道路を横断しているとは。(H20)

●安比高原はスキーのイメージでしたが、15年近く前に友人と安比のペンションに泊まり、夏の高原を満喫しました。あときの空気感は今でも忘れません。(K・M)

●温泉巡りが大好きなので、藤七温泉や松川温泉のような開放的な露天風呂がたくさんある八幡平が大好きです！(H・M)

自然王国へようこそ

絶景が望める山々、緑豊かな森の中、風渡る牧野。休日、心のままに自然が感じられる八幡平へ――。

1泊2日で登ると分かる 岩手山の魅力。



「高校時代、登山は競技だったから、つらかった」と田中さん。卒業後、冬の早池峰山で裏岩手が夕焼けに染まる姿を見てから、登山が楽しいものになったという。

Welcome to The 田中耕一さん 八幡平市山岳ボランティアガイドの会



たなか こういち
1961年生まれ。平館高校時代は山岳部に所属。卒業後、「翠松(あすなろ)山岳会」に所属するかたわら、山岳ガイドも務める。年間約70日は、山に入るベテランガイド。

七時雨山、八幡平、早池峰山、姫神山など、どの山もそれぞれの魅力があり、いい山だと思う。「でも、好きなのは岩手山」田中耕一さんは、岩手山山頂で結婚式を挙げた経験がある。それほどまでに感じる岩手山の魅力とは、何だろうか。「晴れた日の星空がすばらしい。夜景ですが、手を伸ばせば星が掴めそうなんですよ」だから、田中さんは1泊2日の登山をすすめている。8合目の山小屋で、自然と対話をしながら過ごす一夜もいいかもしれない。新しい発見があるかもしれないから。

こんにちは！ 八幡平市地域おこし協力隊です

入場無料の美術館

広場や公園にあるベンチは、腰掛けるためのものであって、寝転がるには少々お行儀が悪いと思っていた。ここにやって来る前までは。だけど、八幡平の緑に囲まれた開放感のある場所にぼつぼつと存在するベンチは、人目を気にせず、空を眺めるのにもってこいだ。

ある日の夕暮れ時、さっそく仰向けになった。手前の木々のシルエットが黒く浮かび、紺青色に染まるまでの刻一刻とした色彩の変化は、さながら聖人の域の手工品のよう。地元の人から「ここはなにもない」と言われることも少なくないけど、私は入場無料のベンチという“美術館”がお気に入りだ。(今川友美)



金沢清水

八幡平市松尾寄木

水草が揺らめく
神秘の泉

ブナやナラなどの広葉樹が生育する森は、水を蓄える力があるという。雨水や山からの雪解け水を溜め、数十年という長い年月をかけて湧水や清水となって地上に流れ出る。

その一つ「金沢清水」は、八幡平市金沢地区に点在する7つの清水の総称である。なかでも湧出量を誇るのが「座頭清水」だ。悠久の時を感じさせる樹々に囲まれた泉は、いつ訪れても静寂に包まれている。透明度が高く、水面が鏡のようで、周囲の木々を映し込む。その神秘的な美しさは、一見の価値あり。岩手山の滝に住む7つの頭を持つ蛇龍の話など幾多も残る伝説が、さらに神秘さを醸し出し、惹きつけてやまない。

水草が揺らめく
神秘の泉

Present

本ページのアンケートに回答、「ハチクラ通信」に投稿してくださった方から抽選で、八幡平市の特産品をプレゼント!

① 藤七温泉彩雲荘

温泉入浴券(ペア券1回券)

5
名様

② 松川温泉松楓荘

温泉入浴券(ペア券4回券)

3
名様

③ 八幡平温泉館 森乃湯

温泉入浴券
(ペア券共通温泉入浴券1回券)

利用可能施設: 森乃湯、焼走りの湯、なかやま荘、あずみの湯、岩畑の湯

5
名様



藤七温泉彩雲荘

プレゼント&アンケート

官製はがきに、●アンケートの回答、●ご希望のプレゼント番号、●住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上、ご応募ください。

●住所 / 〒028-7533 岩手県八幡平市叭田70
八幡平市商工会安代支所「ハチクラ」係

●応募締切 / 2014年9月20日(土)当日消印有効

※当選は商品の発送をもって代えさせていただきます。
※今回、ご記入いただいた個人情報は、八幡平市商工会の個人情報保護方針に基づき、責任をもって管理します。本人の同意を得ずに第三者に開示することはありません。

WEB通信の「ハチクラ」もチェック!

フリーマガジン「ハチクラ」の取材中に得たこぼれ話、「今日のひと皿」のレシピなどを掲載。あわせて、ご覧ください。

ブログ <http://hachimantainfo.blog.fc2.com/>

facebook <https://www.facebook.com/hachikura>

「ハチクラ」Vol.2 読者アンケート

今号「ハチクラ」はいかがでしたか。今後、充実した内容にするため、皆さまの声をお聞かせください。

【問1】ハチクラをどこで入手しましたか?

【問2】本誌を入手の動機は何ですか。(複数選択可)

1. 表紙に惹かれたから
2. 内容がおもしろそうだったから
3. 八幡平市の観光に興味があったから
4. 地元の情報を知りたかったから
5. 無料だったから

【問3】今回の記事でおもしろかったものを挙げてください。(複数選択可)

1. 特集「レッツゴー! 温泉と紅葉」
2. 食材を求めて産直へ「今日のひと皿」
3. 八幡平に生きる人
4. 自然王国へようこそ
5. ブラードフォトのここで撮影しよう
6. こんにちは! 八幡平地域おこし協力隊です
7. プレゼント&読者アンケート
8. ディープスポットを訪ねる
9. ピッキーと行く八幡平

【問4】今クイズです。本誌「八幡平に生きる人」で紹介した「クラリーさん」は、どこの国の出身でしょうか。

1. アメリカ
2. オーストラリア
3. カナダ

「読者の声」投稿募集!

「ハチクラ」では、八幡平市に関する思い出や旅行のエピソードを募集しています。

「読者の声」もしくは、「ハチクラ」ブログでご紹介いたします。匿名希望の方は、必ず明記してください。

八幡平市の味覚、そろう踏み 八幡平スタンプラリー開催中!

今年で3年目になる「八幡平スタンプラリー」。のべ69軒の協賛店を食べ歩きして、ハチマンタイラーのスタンプをGET! スタンプ6個以上で、協賛店で使用できる商品券のほか、特産品を抽選でプレゼントします。応募用紙付きパンフレットは、協賛店で無料配布しています。



<https://www.facebook.com/hachimantai.rally>

次号 2014.Vol.3
予告 平成26年10月25日発行予定

特集「花輪線と大更」

※本誌に掲載している情報は、平成26年8月1日現在のものです。発行後のデータ等が変更になっている場合があります。あらかじめご了承ください。※本誌掲載の記事・写真等の無断掲載を禁止します。

ハチクラ

ステキな八幡平の情報発信をする倶楽部

2014.Vol.2 平成26年8月25日発行

企画・発行
八幡平市商工会 岩手県八幡平市大更35-63-85 TEL 0195-76-2040

「ハチクラ」に関する問い合わせ
八幡平市商工会安代支所 TEL 0195-63-1001

印刷所
大更印刷株式会社 岩手県八幡平市大更21-16-9 TEL 0195-76-2514



●ビッキーとは、八幡平市の非公認マスコットキャラクター。その正体は、樹上で暮らす森の住人・モリアオガエル。「大湯沼とモリアオガエル」は国指定の天然記念物です。



下山した後は柏台の「無国籍dinnig & cafeらんぷ」へ。八幡平コーヒーとカリッとワッフルベリーベリーで糖分補給。実は甘いモノ大好きなビッキーでした。

- 営業時間 / 11:30~14:30 (LO)、18:00~20:30 (LO)
- 定休日 / 不定休

撮影

三浦 学

WILDGRAPE FARM・八幡平山ぶどう農園代表

プクリ、プクリと泡立つ白濁した天然温泉。ここは標高1400メートル、東北で一番高いところにある藤七温泉。ビッキーは自然を感じながら、真っ黒い温泉卵をいただきちゃいました！